

平成30年度 分科会施策の管理シート

分科会名	いきいき世代づくり分科会	会長	金光 俊尚
------	--------------	----	-------

重点項目	がん・生活習慣病の発症予防と重症化予防	数値目標	【達成時期】 平成 35 年度 【目標値】 25%減少させる(予備群:7.5%、該当者:12.6%)	分科会事務局	健康医療課
------	---------------------	------	---	--------	-------

期 初(前年度末まで)	期 中(~9月)		期 末(~2月)…進捗・評価は見込で可		次年度へ 課題、 進捗管理継 続の要否 等	
	分科会事務局	分科会の意見	分科会事務局	分科会の評価		
【施策名・概要】 【実行する内容】 いつ、何を、どのように 等	選定した理由 どのような必要性に基くのか 等	目指す成果 施策を実行した結果、どういった成果が現れる(水準、状態等を数値で)、その検証方法 等	施策の進捗状況	見直し、課題、助言等の内容	実績及び成果に係る自己評価 評価	達成度・成果について 評価
1 糖尿病性腎症重症化予防事業 4月頃、国保連と協定を結び、特定健診データ、レセプト等を分析し指導対象者を抽出し、同意のあった者に対し、かかりつけ医と連携をとりながら委託業者(保健指導関係)が保健指導を実施する。 また、かかりつけ医のいない未治療者・治療中断者への受診勧奨を実施する。	糖尿病のレセプト件数が県平均より高く、総医療費の割合も2位と高い。透析者の半数が糖尿病患者となっている。糖尿病の重症化の予防や、透析移行への防止が必要である。	・糖尿病性腎症3期～4期の者のうち保健指導実施人数15人 ・前年度プログラムを実施した対象者へのフォロー				
2 がん検診受診率の目標値設定及びがん予防対策 ・がん検診受診率の目標値達成に向けて、受診勧奨を行う。 ・民間女性イベントと連携・啓発する。 ①胃内視鏡検査の導入の周知 ②乳がん、子宮頸がんの市外の医療機関の周知 ③精密検査受診者を把握するための仕組みの整備	死因の1位は悪性新生物(がん)であるが、がん検診の受診率が低い。早期発見を促すため、がん検診の受診率の向上、要精密検査の受診率向上に取り組む必要がある。	・がん検診受診率目標達成 胃がん 11.5% 大腸がん 11.0% 肺がん 9.5% 子宮がん 12.0% 乳がん 15.0%				
3 (新規)特定健診の受診率向上、保健指導の利用率の向上 ・検診受診率の向上を図るため、健康診査案内の周知文書の配布方法を見直す。 ・未受診者に再勧奨を促す案内ハガキ等を効率よく発送する。 ・要所見者に保健指導の取組みを行う。 ①新たに対象者への受診勧奨②治療中の者の情報提供制度の活用促進③不定期受診者の定着化	生活習慣病の予防	特定検診受診率目標達成 目標受診率 45% H29年度の受診率推計:37%～38%				
4 食育拠点の運営・食育の推進 ・食育拠点の運営:プラチナ定食・スマート定食の販売・啓発 ・高血圧教室の開催:レストランでの健康的な食体験を通し自覚を図る。広報及び検診時に案内する。また、病院事業と連動した取組を計画する。 ・高校生への食育の推進	食生活の改善による生活習慣病の予防	・販売目標の達成(定食10食ずつ) ・高血圧教室の目標達成:年4回開催 1回当たり10人 合計40人				
5 運動の習慣づくり ・ウォーキングの推進:ウォーキングチャレンジ事業の実施、職場のグループでウォーキングを実施 ・ウォーキングマスターを中心とした地域の活動の支援 ・府中焼きマンボ体操:保育所小学校低学年へ体操の普及	運動している人の継続率は上昇しているが、日常生活の中で運動をしている人の割合は、減少している。男性のメタボ該当者・予備群が女性の3倍と高い。	○てくてくウォーキングチャレンジ事業 登録グループ数 100組 ・目標歩数の達成グループの増加80%以上 ○府中焼きマンボ体操普及推進 全保育所で実施、小学校4校以上で行事等で体操実施				

- (注意事項)
- ① 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
 - ② 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
 - ③ 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たってのプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
 - ④ 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項